

令和7年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

森林保全課

1 施設の概要等

施設名	広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園（ひろしま遊学の森）		
所在地	広島市東区福田町 10166-2		
設置目的	○緑化に関する知識と技術の普及啓発 ○緑化の推進		
施設・設備	面積 124.97ha、管理事務所等(主要施設 4 棟)、遊歩道(12,000m)、駐車場(474 台)等		
指定管理者	6 期目	R4. 4. 1～R9. 3. 31	ひろしま遊学の森管理グループ
	5 期目	H29. 4. 1～R4. 3. 31	ひろしま遊学の森管理グループ
	4 期目	H28. 4. 1～H29. 3. 31	みずえ緑地(株)
	3 期目	H23. 4. 1～H28. 3. 31	みずえ緑地(株)
	2 期目	H20. 4. 1～H23. 3. 31	みずえ緑地(株)
	1 期目	H17. 4. 1～H20. 3. 31	みずえ緑地(株)

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入園者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	6 期	R7	103,000 人	84,469 人	4,745 人
R6		103,000 人	79,724 人	△8,946 人	△23,276 人(77.4%)
R5		103,000 人	88,670 人	△18,217 人	△14,330 人(86.1%)
R4		100,000 人	106,887 人	12,387 人	6,887 人(100.1%)
	5 期平均 H29～R3	98,000 人	94,500 人	1,165 人	△3,500 人(96.4%)
	4 期平均 H28	96,870 人	93,335 人	△4,195 人	△3,535 人(96.4%)
	3 期平均 H23～H27	96,870 人	97,530 人	△1,175 人	660 人(100.7%)
	2 期平均 H20～H22	93,900 人	98,705 人	4,769 人	4,805 人(105.1%)
	1 期平均 H17～H19	93,600 人	93,936 人	12,513 人	336 人(100.4%)
	H16 (導入前)	—	81,423 人	—	—
増減理由	夏の猛暑や紅葉時期の天候不順の影響により入園者数は目標値を下回ったが、桜の開花が3月に早まったことや新たなイベントの開催により、前年度と比較して入園者が増加した。				

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	入園者へのアンケート調査	施設入園者、研修会参加者等 693 人
	【主な意見】	【その対応状況】
	植物や動物に触れる体験など、ファミリーで参加できるイベントがあり、とても良かった。継続して開催してほしい。	入園者へ喜んでいただけるよう、今後も多くのイベントや研修を開催する。
	教室や研修施設など学べる場を充実させてほしい。	施設の魅力向上と学習機能の充実を図ることを目的として、学習展示館の改修及び展示設備のリニューアルを実施中。

4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次業務報告書
	日報 (必要随時)	○	施設の老朽・損傷状況等
管理運営会議 (1回・現地)		【特記事項等】	

現地調査（随時）	広島市森林公園と共同で施設の運営について意見交換を行った。 【指定管理者の意見】 広島市森林公園との連携の推進により、両園の利用促進を図る。 【県の対応】 指定管理者及び広島市と協議し、連携の取組を支援する。
----------	--

5 県委託料の状況

（単位：千円）

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	県委託料 (決算額)	6期	R7	65,312		2,974	料金 収入 (決算額)	—	—
R6			62,338	323					
R5			62,015	△211					
R4			62,226	1,521					
5期平均 H29～R3		60,705	4,135						
4期 H28		56,570	820						
3期平均 H23～H27		55,750	2,500						
2期平均 H20～H22		53,250	△3,210						
1期平均 H17～H19		56,460	△5,794						
H16（導入前）		62,254	—						

6 管理経費の状況

（単位：千円）

項目		R7 決算額	R6 決算額	前年度差	主な増減理由等
収入	県委託料	65,312	62,338	2,974	物価等の変動による管理費用の増
	料金収入	0	0		
	その他収入	0	0		
	計(A)	65,312	62,338	2,974	
支出	人件費	31,316	30,038	1,278	職員給与費の増
	光熱水費	2,219	2,318	△99	省エネ機器の導入による減
	設備等保守点検費 清掃・警備費等	6,777	6,565	212	清掃費の増
	施設維持修繕費	2,341	2,806	△465	施設修繕の減
	緑地管理費	11,412	10,372	1,040	委託労務費の増
	事務局費	6,686	6,069	617	イベントの増加による増
	その他	4,568	4,180	388	イベント参加者の保険料等の増
	計(B)	65,319	62,348	2,971	
収支①(A-B)		△7	△10	3	
自主事業 (※2)	収入(C)	5,189	4,334	855	レストハウスの運営費の増
	支出(D)	7,939	7,218	721	
	収支②(C-D)	△2,750	△2,884	134	
合計収支(①+②)		△2,757	△2,894	137	

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価	
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	<p>設置目的である「緑に関する知識と技術の普及啓発」を図るため、自然豊かなフィールドを利用した自然探勝や草花の観察会、親子で楽しめる木工教室等を実施した。</p> <p>また、広島市森林公園との連携イベントとして、両園を繋ぐ道を散策するピクニックウォークを実施した。</p>	<p>多様なイベントや研修会の開催を通じて、幅広い年齢層に対して緑化に関する知識・技術の普及がなされており、アンケートの結果からも、「森林浴ができた」「心が癒される場所」「自然を学べる」など好評を得ている。</p> <p>また、広島市森林公園との共催イベントを継続的に実施している。</p>
	○業務の実施による、県民サービスの向上	<p>広島県緑化センターのバリアフリーマップを作成し、ホームページでの公表やマップの配布を行った。</p> <p>また、SNS からの閲覧が増加しているため、写真など視覚的情報や速報性の高い情報は SNS を活用して、積極的に発信した。</p>	<p>利用者目線に立ち、授乳室や多目的トイレなどのバリアフリーマップを作成し、県民サービスの向上に努めている。</p> <p>また、発信内容に合わせてホームページと SNS の両方を活用し、それぞれの特長に沿った効果的な情報発信がされている。</p>
	○業務の実施による、施設の利用促進	<p>新たに、子ども向けイベント「森のふれあい動物園」を開催したほか、季節ごとの展示、植物の植替え状況などを SNS やメディア等により発信し、施設の利用促進に努めた。</p>	<p>集客対策として、これまでにないイベントの実施や SNS による見頃の植物の紹介を兼ねた豆知識の発信など、知識の普及に努めている。</p>
	○施設の維持管理	<p>毎日の警備、清掃に加え、法律及びマニュアルに定める規定回数の施設点検を実施し、必要に応じ修繕を行っている。また、適期に緑地管理を実施しているほか、入園者の安全を図るため、園内の危険木調査及び除去を実施している。</p>	<p>日常点検や施設点検をマニュアルに定めるとおりに行っており、必要箇所は直ちに修繕しているほか、園内の危険木調査及び除去、案内板の再塗装や追加設置を行うなど、入園者の安全確保に努めている。</p>
管理の人的基礎	○組織体制の見直し	<p>更なる魅力向上と業務の効率化を図るため、2社 JV による広島市森林公園との一体的な管理運営体制の強化に努めている。</p>	<p>2社 JV の強みを生かし、各社の専門知識を有した職員を適材適所に配置することで、設備管理や緑化相談に適切に対応する体制が整っている。</p>
	○効率的な業務運営 ○収支の適正	<p>2社 JV による業務の効率化や、公園ボランティア等との協力体制を築いており、施設の維持管理に係る経費の節減に努めている。</p>	<p>2社 JV による業務の効率化や、公園ボランティア等の協力により、指定管理料の範囲内で効率的な管理運営が行われている。</p>
総括	<p>緑化センターの設置目的に即した研修会等の開催、花木の植栽等による魅力の向上、安全・安心に施設利用できる環境整備に努め、入園者満足度において目標を達成することができた。</p> <p>今後、入園者数の目標を達成するため、ファミリー層の入園の促進を図るとともに、広島市森林公園との連携に係る課題の抽出や効果の検証を通じて、両園の更なる魅力の向上を図る必要がある。</p>	<p>入園者へのアンケートでは、入園の目的に対する満足度が 96.2%と高く、ニーズに沿った管理運営がなされていることが評価できる。</p> <p>次年度以降、入園者数の目標値を達成するためには、展示植物の充実や森林整備を進めるとともに、天候の影響を受けない室内展示等の充実も図り、広島市森林公園との連携イベント等の企画によりファミリー層を呼び込むなど、利用者層を拡げていく必要がある。</p>	

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
<p>短期的な対応 (令和8年度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 入園者数の目標を達成するため、ファミリー層をターゲットとしてイベントを計画する。 ○ 湿地植物園の植物管理と展示の充実を図り、人気のスポットに仕立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設の魅力向上のため、学習展示館の改修及び展示のリニューアルを実施する。 ○ 樹木の高齢化による樹勢の衰えや枯損が懸念されることから、病虫害対策や危険木伐倒を行う。
<p>中期的な対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 設置目的に沿った植物園機能の再生を計画的に実施するとともに、入園者の安全に配慮した施設運営を行う。 ○ 広島市森林公園との連携体制の強化に向けた課題を整理し、今後の在り方を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 老朽化している施設について、優先度の高いものから計画的に修繕する。 ○ 土中にある配線など重要な設備を計画的に更新するため、前提となる土壌調査の実施を検討する。